


おはなしトレイン

ふゆのワクワク号

学年ごとに おすすめの本を しょうかいします。ゆきうさぎのマーク  は読みやすいおはなし。

ゆきだるまのマーク  はすこし長めのおはなしです。ぜひ、チャレンジしてください。

1・2年生

やかまし村のクリスマス



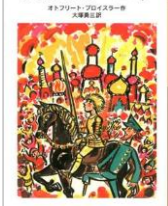
アストリッド・リンドグレン/作者
イロン・ヴィークランド/画家
おざき よし/訳者
ポプラ社

『やかまし村のクリスマス』

やかまし村の7人の子どもたち。クリスマスが近づき、ツリーのじゅんびや、クッキー作りに大いそがし。でもみんなで助けあいながら、楽しくすごします。クリスマスプレゼントやたくさんのごちそう。ツリーのまわりであそんだり、プレゼントのスキーやそりでゆきの上をすべったり。さし絵を見ているだけでもワクワクして、クリスマスがまちどおしくなりますよ。

3・4年生

大力のワーニャ



オトフリート・プロイスラー/著
おおつかゆうぞう/訳者
大塚勇三/訳者
岩波書店

『大力のワーニャ』

ワーニャは三人兄弟の末っ子で、大のなまめものです。ある時ふしぎな老人に会い、7年間かまどの上で何も話さず、ヒマワリの種だけ食べていけば、いずれ皇帝になれると言われます。一方、働きものの兄さんたちは、友だちから弟のことをからかわれ、ついにがまんができなくなってしまいました。そして、おそろしい計画を実行しようとしています。ワーニャは本当に皇帝になれるのかな？

5・6年生



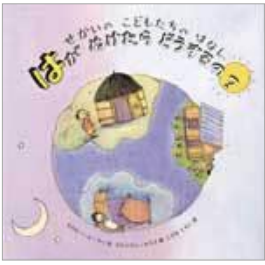
リンダ・スー・パーク/著者
かたおか 片岡しのぶ/訳者
あすなる書房

『モギ ちいさな焼きもの師』

12世紀後半、韓国西海岸の小さな村。家も身よりもいない少年モギは、橋の下でトゥルミじいさんと暮らしていました。毎朝の仕事は食べられるものをさがすこと。そんなモギの楽しみは、素晴らしい腕を持った焼きもの師ミンの仕事をこっそりのぞくことでした。青磁という焼きもの美しさにみせられ、いつしか焼きもの師を夢見るようになるモギですが、そこには大きな試練が待っていました。

1・2年生

『はがぬけたらどうするの?』



セルビー・ビーラー/文
ブライアン・カラス/絵
こだまともこ/訳
フレーベル館

子どものはがぬけた時、あなたは
どうしていますか?
上のはがぬけたら下へなげて、下
のはがぬけたらやねの上になげるお
まじないを、聞いたことがあるかも
しれません。では、他の国ではどう
しているのでしょうか。どうやら、い
がいなどうぶつが、かつやくしたり
するようです。66のちいきのと
もだちがおしえてくれます。

3・4年生

『お江戸の百太郎』



那須正幹/作
ながのヒデ子/画
いわさきしよてん
岩崎書店

江戸は深川、本所亀沢町のとある
長屋に、百太郎という男の子がい
ました。とうちゃんは優しいけれど
腕はさっぱりの岡っ引き。岡っ引き
というのは、今でいう私立探偵のよ
うなものです。もう5年も手柄を立
てていないとうちゃんにかわって、
名探偵百太郎の推理が育えます。
4話からなる「捕り物帳」をとく
とごらんあれ!

5・6年生

『世界のともだち 04 フィンランド 雪と森の国のカオリ』



まつおかいつつ/写真
松岡一哲/写真・文
かいせいしや
偕成社

フィンランドにある、海と森に囲ま
れた美しい町で小学生のカオリ
は暮らしています。どんな毎日を送
っているのでしょうか? 日本と似て
いるところもあるようです。サン
タクローズのふるさととして有名
なフィンランドでは、どんなクリス
マスを迎えるのかも気になります
ね。カオリのにぎやかな毎日が写真
を通して味わえます。

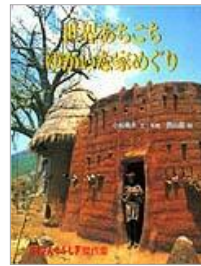
『エルマーのぼうけん』



ルース・スタイルス・ガネット/著者
ルース・クリスマン・ガネット/画家
わたなべしげお/訳者
ふくいんかんしよてん
福音館書店

年をとったのらねこから「どうぶつ
島」でつかまっている、かわいそう
なりゅうの話を書いたエルマー
は、りゅうを助けるためのぼうけん
へ出ます。エルマーは、持ちものを
ちゅういぶかくえらび、おそろしい
どうぶつに出あわないようにしん
ちょうにすすみますが、ライオンに
見つかってしまい…。
さあ、どうやって切りぬけよう!

『世界あちこちゆかいな家めぐり』



小松義夫/文・写真
西山晶/絵
ふくいんかんしよてん
福音館書店

見た目も楽しい、世界各地の10の
家を写真で紹介しします。それそれ
の家でのくらしぶりを、細かいイラ
ストで見ることできます。造られ
た家々やくらしの工夫を見ると、
人々が考えた知恵のすばらし
さに驚かされますよ。世界のひと
のことをもっと知りたくなったり
わたしたちの暮らしをふりかえっ
たりするきっかけになる本です。

『小公女』



フランシス・ホジソン・パーネット/作
たかどのほろこ/訳
高樓方子/訳
エセル・フランクリン・ベッツ/画
ふくいんかんしよてん
福音館書店

裕福な父のもと、この上ない愛
情を注がれて育ったセーラ。とこ
ろが、ロンドンの寄宿学校で11
歳の誕生日を迎えたその日、父
おやが亡くなったことを知らされま
す。そこから彼女の生活は一変し
ました。しかし、彼女はどんな時
でも「王女」なのでした。それも、
とびきりすてきな王女様。長め
のお話ですが、読めばきっと勇気も
もらえますよ。